

2025 年 3 月 31 日

神奈川学校保健研究会
関係者各位

神奈川学校保健研究会の閉会について

1968 年に養護教諭の専門性を高めることを目的として発足した神奈川学校保健研究会は、2025 年 3 月 31 日をもって閉会いたしました。

発足当時は養護教諭の研修の機会に限られており、当研究会では公衆衛生・環境衛生・精神衛生などをテーマに学び、養護教諭同士の交流の場を求め続けてまいりました。1980 年代からは不登校や保健室登校といった課題が浮き彫りとなり、養護教諭の専門性がさらに求められるようになりました。当研究会は「いのちを生きる」「自己理解と他者理解」をメインテーマとして、子どものこころとからだに寄り添うための学びを重ねてきました。

しかし、2020 年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、毎年全国から 100 名以上の養護教諭が参加していた夏期講習会を中止せざるを得ず、その後再開することはできませんでした。毎月の研究会例会もオンライン研修に切り替えましたが、参加者の減少は顕著でした。

現在では教育委員会などによる研修も充実し、インターネットの普及とともに情報収集が容易になりました。また、当研究会への参加者の減少により運営の維持が難しくなったため、当研究会幹事と事務局（公益財団法人神奈川県予防医学協会）と協議を重ねました。その結果、当研究会は一定の成果を収め、その役割を果たしたとし、閉会を決定いたしました。56 年間ともに学び支え合い、ともに心をつむいできてくださったみなさまに深く感謝申し上げます。

なお、当研究会の決算時繰越金 324,546 円は、認定 NPO 法人「カタリバ」および認定 NPO 法人「横浜こどもホスピスプロジェクト」に全額寄付させていただきました。これらの団体の活動に深く共感し、子どもたちの未来のために少しでも役立てていただければと心より願っております。

最後になりますが、皆様の今後のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。これまで長きにわたってご支援とご協力をいただいたことに、改めて深く感謝申し上げます。

神奈川学校保健研究会
会長 鈴木晴美